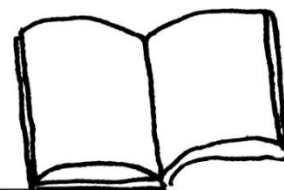


# 敬 和

R2.7.2 発行

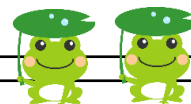


今回は、校訓「敬和」の授業後の2年生の思いを紹介します。

校訓「敬和」の意味を知って、そして先生の話聞いて、周りにいる1人1人違う人たち、友達を大切にしたいなと思いました。仲の良い人もそうでない人も、その人のいいところを見つけて接したいです。自分も自分のいいところを見つけられるようにしたいです。

自分はおだやかで仲良く、互いに尊敬しあえるクラスにしたいです。自分自身も相手を尊敬できたら、自分のことを尊敬してもらえる関係になると思いました。部活でも試合でもお互いのことを知って良い関係だと、成功した時の喜びは倍になるし、仲間の大切さが分かると思います。友達も先生も家族も敬える人になって、相手のことも自分のこともしっかり考えられる人になりたいです。今まであまり考えることもなかったけど、これから校訓「敬和」を忘れず、大切にしていって、相手から頼られる、それこそ尊敬される人になれるようにしたいです。

今日の授業で、これからの生活で「敬和」をもっと大切にしていこうと思いました。世の中には、色々な個性をもっている人がいるから、合う合わないとか色々あると思うけど、それでも、相手のことをきちんと考えていきたいです。話を聞いて、相手の個性もきちんと分かって、その個性に合うようにどうすればいいのかを考えていこうと思いました。



先生の話聞いて、改めてこの校訓の大切さと日頃の生活のありがたさに気付いた。特に、人を敬い、仲良くする大切さについて気付いた。これからの学校生活では、友達と仲良くすることはもちろん、相手の気持ちを考えて発言・行動し、いろいろな人の良い所を見つけていきたいと思う。また、道徳や社会の授業で世界の問題についても真剣に向き合って、考えを深めていきたい。その場、その時の状況で、その人の気持ちになって、1人1人の考えを尊重し、意見を言い合えるようになりたい。

「敬和」は相手のことを考えて、仲良く生きていくことだと思う。いいところも悪いところも含めて個性だけど、よいところは伸ばし、悪いところはなおしてみんなに迷惑をかけないように生きるのも大切だと思う。相手にイラッとしても、友達にぐちゃ悪口を言うのではなく、イラッとした相手より、上を目指すことが大切だと思う。何よりも大切なのは、互いを尊敬することだと思う。

自分自身のことについて、私は2年になってから、勉強と部活をがんばりたいなと思いました。そして、周りの人にも優しく接し、思いやりのある人になりたいなと思いました。クラスのことについては、去年入学してきた時は、ほとんど上八万小の子ばかりだったけど、上八万小の子が優しく接してくれたおかげで、もっと仲良くなりたかったです。まだ、クラスみんなの性格を完全に知っているわけでもないのでもっと色々な人に話しかけて、仲良くなりたいです。そして、日頃から親とか先生への感謝の気持ちを忘れず、みんなに優しく接したいです。

相手のことを尊敬し、自分だけでなく、周りの考える、そして明るく温かな雰囲気にしていって、うまく人と人がつながり合うこと。もう一つは、一人一人の個性を認め合い、協力するということ。私はこの2つが、上八万中学校の校訓「敬和」ではないかと考えました。だから、私もそういうふうを考え、行動できるようにしたいです。

この一年、みんなと仲良く、笑顔でいたいと思いました。このクラスは盛り上げ役が多いので、いつも元気をもらっています。そして、「敬和」に入っている互いを尊敬するという事は、一番いいと思ったことです。相手を知って、自分のことを知ってもらって成長できたらいいなと思いました。僕は、友達のことをこれからどんどん知っていって、仲を深めて仲良くしていく一年にしたいと思いました。だから自分から友達に話しかけようと思います。

楽しく学校生活が送れているのは、わかりやすく教えてくれる先生、気の合う友達、優しく接してくれる先輩がいるからだと思います。その人たちを尊敬して生活していきたいです。誰かが困っていたり、つらそうにしていたりしたら、話を聞いてあげて、その子が楽しく過ごせるように自分ができることはしたいです。

私の性格は怒るとすぐに態度とかに出してしまいます。それをなおしていきたいです。これからはあまりしゃべったことがない子にも自分から話しかけていきます。そして、校訓「敬和」というすばらしい言葉を大事にしていきます。



このクラスをみんな尊敬し合い、明るく楽しいクラスにしたいです。私は校訓「敬和」は1年生の時、尊敬だけだと思っていました。でも2年生になって改めて尊敬もあるけど、それだけでなく、互いの長所や短所を知って、これから友達と仲良くなっていくこと、協力しあって生きていくことなど、たくさんを知ることができました。1年生の時、初めて会った友達がたくさんいて、過ごしていけるのか、不安でいっぱいでした。でも、みんなと過ごしていくうちに仲良くなって、私から友達に話をするのができて、勇気が出てきました。それも私の周りにはいる友達や先生、家族や地域の方々の支えなんだと感じることができました。私はこの「敬和」という校訓を忘れないと思います。